松原小
創立 50 周年
1976-2025

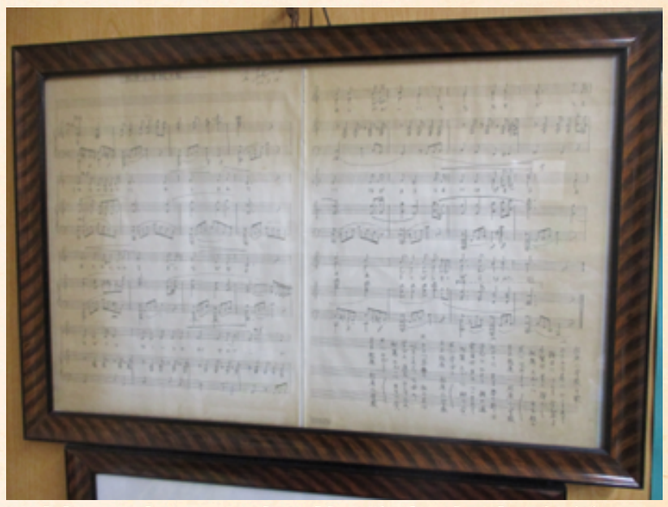
Matsubara-syo Chronicle

VOL. 6, R8.2.21 ✱ 50TH ANNIVERSARY ✱

松原小の校歌に込められた「思い」

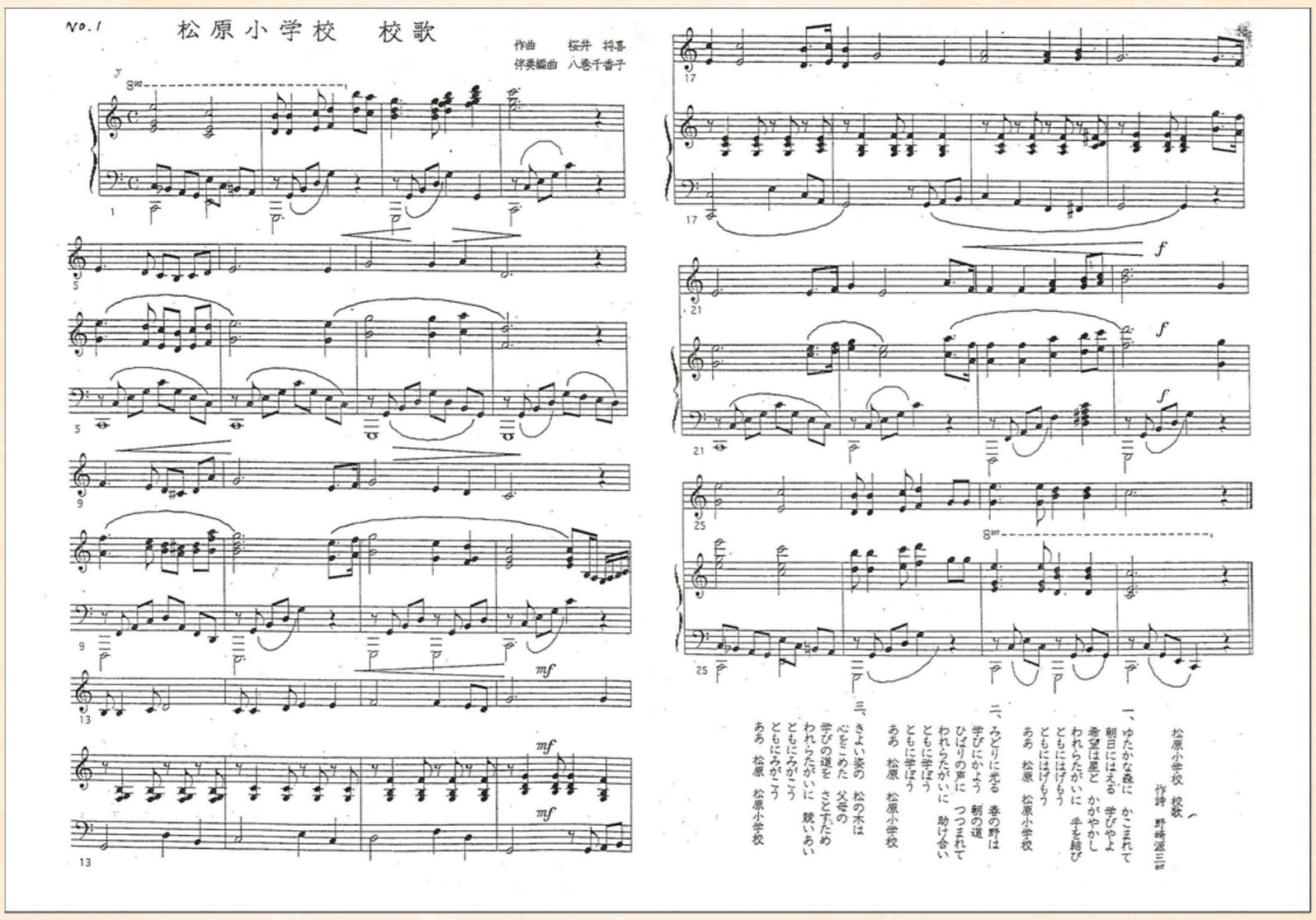
１．校歌制定の経緯

・PTA総務役員会・総務部会に議題として提出、意見聴取
・職員会議での話し合い→地元の作者、作曲者に依頼することを決定する。
・作詞について正式依頼→野崎　源三郎氏
・昭和53年1月中旬　校歌の作者依頼→櫻井　将喜氏
・　〃 2月上旬　作曲者、作詞者の話し合い
・　〃 2月中旬　校歌指導（5・6年生）櫻井先生他ご来校　→　校歌完成
・　〃 5月8日 「松原小学校落成祝賀会」で校歌披露



校長室には櫻井将喜先生直筆の
楽譜が今でも掲げられています。

２．校歌の楽譜



３．作詞者　野崎　源三郎さんについて

〇昭和45年8月、鴻巣市長に初当選し、以来3期12年間にわたって、各種施設の拡充と施策を推進し優れた政治力を発揮した方です。鴻巣市名誉市民として顕彰されています。

４．校歌の特徴について【音楽主任より】

〇この校歌の前奏は、広い音階の音が使われているため迫力があり、とてもテンポのよいリズムになっています。曲の最後は、前奏とほとんど同じ旋律で締めくくられています。
〇曲が盛り上がるところ（強弱記号のmfからｆにかけて）では、ソプラノとアルトのパートに分かれて合唱します。全校児童で合唱するときは、高学年がアルトパートを担当しています。
〇１番から３番までのそれぞれの歌詞の後半には、「ともに　はげもう」「ともに　学ぼう」「ともに　みがこう」という言葉が入っています。この歌詞からは、松原小学校の児童・職員、保護者の皆様、そして地域の皆様をはじめ、松原小学校に携わるすべての人がともに支え合い、協力しながら過ごしていこうという心意気を感じます。歌詞の意味を大切にしながら校歌を歌っていきたいです。